



2020 年 エコシステムアカデミー活動概要



I 体験型学習

2020 年を振り返って、「エコシステムアカデミー」の取り組みについてご紹介いたします。

2020 年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、出前授業やイベントが中止・参加見送りになったり、対外的な活動は実施するにしても今までにない感染防止対策を実施することになったりと、制限の多い 1 年となりました。まだまだコロナ禍は続きそうですが、ウェブミーティングなど新しい手法を利用したプログラムなど、今までできなかったことが可能になるチャンスと捉え、持続可能な社会づくりに貢献できるエコアカ活動を継続していきたいと思います。

1. 環境教育

○「福島県体験の機会」認定取得

2020 年 3 月に、環境省が SDGs を達成するための ESD

（持続可能な開発のための教育）の一環として進める「福島県体験の機会」の認定を取得しました。

現在「体験の機会」は全国では 18 ヶ所、福島県では 2 か所が認定されています。



○地域との協働取り組み

墨田区環境保全課（すみだエコライフサポーター）、東京都立水元公園に加え、西郷村中央公民館（教育委員会生涯学習課/西郷単位制総合大学）と協働で、地元の子どもたちへの森林環境学習を行うことができました。そこでは、子どもたちに環境教育を通じて郷土愛を醸成するとともに、シニア世代の社会貢献と企業の CSR 活動というニーズを組み合わせることができました。今後、展開・発展させたい取り組みです。

【白河地区での取り組み】

○5/27 第 5 回生長の森植樹

本来ならば、地元の方々、お客様、従業員家族など 50 名規模で「エコアカ設立 10 周年記念植樹会」としての開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、那須甲子青少年自然の家 所長・次長様に応援いただきながら、白河在勤エコアカメンバーだけで約 150 本の植樹（2020 年 1～2 月にアカマツを伐採した生長の森に元々の植生であるミズナラを主体）を行いました。どの苗木もしっかりと根付いています。



○9/3 西郷単位制総合大学「森林環境学習/紙すき体験」

西郷村教育委員会が主催する生涯学習の講座の一つとして大人 17 名を対象に行いました。この講座受講生の内 6 名の方が 9/5 わくわく探検隊「森林環境学習/紙すき体験」にスタッフとして参加しました。

○9/5 わくわく探検隊「森林環境学習/森林観察 紙すき体験」

西郷村内在学小学 4 年生 10 名を対象に、「子どもたちに自分たちが暮らす西郷村についてもっと知ってもらい郷土愛を育む」ことを目的とした西郷村教育委員会が主催する講座の一つとして、エコアカの「森林環

「環境学習+森林観察+紙すき体験」を実施しました。

○セカンドスクール「私たちの生活と森林」

那須甲子青少年自然の家セカンドスクールにて、5年生社会科「私たちの生活と森林」の授業として、針葉樹パルプと広葉樹パルプの違いをテーマに「森林環境学習+紙すき体験」を行いました。対応スタッフとして、エコアカ、白河サイトメンバーに加えて「西郷単位制総合大学」受講生の方々にも参加いただきました。地域との連携の一環として、「西郷単位制総合大学」とは今後も継続的に協働取り組みを実施していきたいと考えています。

- ・10/21 近津小学校（棚倉町）（23名/1クラス）・10/23 高野小学校（棚倉町）（11名/1クラス）
- ・10/28 小田倉小学校（西郷村）（72名/3クラス）・11/10 米小学校（西郷村）（34名/2クラス）
- ・11/17 羽太小学校（西郷村）（13名/1クラス）・11/19 熊倉小学校（西郷村）（54名/2クラス）
- ・11/25 川谷小学校（西郷村）（8名/1クラス）



西郷単位制総合大学



わくわく探検隊



セカンドスクール（近津小学校）



セカンドスクール（高野小学校）



セカンドスクール（小田倉小学校）



セカンドスクール（米小学校）



セカンドスクール（羽太小学校）



セカンドスクール（熊倉小学校）



セカンドスクール（川谷小学校）

【東京地区での取り組み】

○2/5 両国小学校出前授業（総合学習）「牛乳パック（紙パックのリサイクル）」

6年生3クラス90名を対象に実施しました。分別回収の意味、牛乳パックのラミはがしの意味を理解し、森林資源の大切さや資源のリサイクルについて学習してもらいました。

〇8/8・12・14・18 KSC 夏休み自由研究「紙すき体験」

金町スイミングスクールでの夏休み自由研究:会員親子対象に、「手すきハガキ作りで、広葉樹パルプと針葉樹パルプからの紙の違いを確かめよう。」をテーマにパネル展示（木から紙ができるまで、FSC（管理された森の木を利用しよう。））と紙すき体験を実施しました。4 日間で子ども 29 名、保護者 24 名に参加いただきました。

〇8/19 すみだ夏休み自由研究「牛乳パック（紙パックのリサイクル）」

すみだ夏休み自由研究:墨田区環境保全課との協働で、墨田区在住の親子対象に、牛乳パックのリサイクルをテーマに講義と紙すき体験を実施しました。午前の部で 6 組(12 人)、午後の部で 4 組(8 人)の親子に参加いただきました。アンケートでは全員から「とても面白かった（とても参考になった）」との評価をいただきました。特に、「家庭の身近な内容を題材に詳しくわかりやすく説明していただき、学校の授業ともつながりがありよかった。」「紙すきを繰り返すうちに、子どもだけでできるようになっていったのでよかった。」などのコメントをいただきました。

〇9/17 都立葛飾総合高校出前授業「地球環境と森の循環」

生物履修の 2・3 年生 20 名を対象に「地球環境と森の循環」をテーマに出前授業（講義＋紙抄き体験）を実施しました。

〇10/15 葛飾区立水元小学校自然観察会（水元公園）「秋を感じよう」（樹木観察、ドングリ拾い）

1 年生 35 人×3 クラスを対象に自然観察会を実施しました。

〇10/18 クラフトフェスティバル（水元公園）

一般公園来場者を対象とした水元公園との協働イベント「水元公園クラフトフェスティバル」にて、参加者のドングリや木など素材としたクラフト体験のサポートを担当しました。

〇11/13 葛飾区立東水元小出前授業「楽しい秋いっぱい」（おもちゃをつくろう）

1 年生 2 クラス 49 名を対象に、水元グリーンプラザ友の会と協働で、「楽しい秋いっぱい（クラフト体験）」を実施しました。

〇12/13 FIC(千葉県森林インストラクター会)主催の千葉県君津地区小学生 2～4 年生 15 名対象の「森林環境学習＋紙すき体験」に対して機材を貸し出し協力しました。

〇12/3 新宿区立落合第六小学校出前授業 4 年生 1 クラス 37 名「牛乳パックのリサイクル」（中止）

12/22 墨田区立錦糸小学校出前授業 4 年生 2 クラス 42 名「牛乳パックのリサイクル」（中止）



両国小学校出前授業



KSC 夏休み自由研究



すみだ夏休み自由研究



都立葛飾総合高校出前授業



水元小学校自然観察会



クラフトフェスティバル



葛飾区立東水元小出前授業

【八戸・北上地区での取り組み】

〇2/21 多賀台小出前教室（社会科林業） 森林環境学習+紙すき体験
5年生 1 クラス 27 名を対象に実施しました。

〇7/15-17 10/13 プロジェクトDの森 in 北上生育状況調査・下刈り

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、地元こどもエコクラブの子どもたちおよび日本環境協会と一緒に
行う「下刈りイベント」は中止としました。エコアカ事務局のみで生育状況を確認し、KHP に協力をい
ただいて下刈りを行いました。

〇北上地区での出前授業（見送り）



多賀台小学校出前授業



多賀台小の子共達からの感想文



プロジェクトDの森

【関西地区での取り組み】

〇3 月 長岡京市立長岡第七小学校出前授業（中止）

〇11 月 環境フェア（参加見送り）

2. インストラクター養成・社員教育

○2月 安全教育 チェーンソー特別教育補講受講

労働安全衛生規則および安全衛生特別教育改正に伴い、エコアカ2名が受講し修了しました。

○3月 福島県森の案内人資格：エコアカ1名が取得しました。

12月 森林インストラクター資格：エコアカ3名が取得しました。

○インストラクター養成教育・スキルアップトレーニング

2/20 ハ戸サイトにてインストラクター養成教育を実施しました。

新たに2名の方（MPEC1名、OB1名）が新たに仲間（インストラクター補）に加わりました。



講義の様子



紙抄き実習

- ・例年実施している本社および白河でのインストラクター養成教育は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け未開講となりました。
- ・水元公園での森林観察ガイドをテーマとしたスキルアップトレーニングを計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け中止となりました。

○社員研修（未開催）

3. 営業支援（未開催）

II 森の調査・研究

村火社有林を調査地として森の生態系を私たちの実体験として知り、その豊かさを発信することを目的として、植物、動物（獣、野鳥、土壌動物）を対象とした調査を継続して行っています。

また、東日本大震災以降の放射線量の推移についても、独自に測定を継続して行っています。

1. 社有林のカメラ観察



冬



春



夏



秋

村火社有林 定点カメラ

Ⅲ 森の育成・管理・利用

1. 社有林の巡視・整備（通年）

○4/23 欠入社有林境界踏査

欠入社有林の境界確認、林内の状況・植生・地形確認を目的として欠入社有林の境界踏査を実施しました。

○FSC 年次監査

6/16 - 17 FSC-FM 監査（村火社有林、欠入社有林）、6/24 FSC-COC 監査（木製品、モールド製品）を受け、認証継続となっています。

2. 材の利用

○1～2月 生長の森第二期造成（伐採）



伐採前



伐採中



搬出



伐採後

○社有林材の利用

伐採木については、原木を地元事業者（製材所（みなみ製材所）・燃料木質ペレット事業者（シーズ）・チップ事業者（アラカイ））へ販売することができました。また、地元木材加工事業者と協働で、伐採木を利用したいろいろな木工品の製作を検討しています。既にみなみ製材所でのカレンダースタンドは製作しノベルティとして配布しており、新たに巣箱（みなみ製材所）、経木（島倉産業）、割ばし（磐城高箸）などを試作・検討しています。今後も継続した取り組みとしていく予定です。

Ⅳ 環境セミナー

1. 設立 10 周年記念特別講演（ウェブセミナー）

○11/6 テーマ：自然災害や感染症流行と環境 ～今、環境が私たちに問いかけていること～

講演者：東京大学名誉教授 太田猛彦氏

今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、聴講対象を MPM グループ従業員に限定しウェブセミナー形式を取り入れました。（ウェブ聴講（約 50 名）＋本社および各拠点会議室での集合聴講（約 50 名））今後もウェブセミナーを新しい生活様式でのツールの一つとして利用していく予定です。



自宅より講演される太田氏



本社会場での聴講の様子

V その他

1. エコアカパンフレット改訂

生長の森第二期造成、福島県体験の機会の場合認定取得に伴い、パンフレットの内容を見直し、改訂版を作成しました。併せて、体験学習プログラム例を記載するなど、エコアカの活動をよりわかりやすく紹介しています。

2. 本社ギャラリー展（未開催）

5月と11月に計画をしていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け未開催となりました。

以上

【発行】エコシステムアカデミー事務局

長田雅一 濱崎善幸

【発行年月日】2021年1月21日